

## § 0.0 変数と定数

数学では数などを  $a$  とか  $b$  とか  $x$  とか  $y$  などの記号で表します. いろいろなものを表す記号を変数 (variable) といいます. 右下に番号を付けた変数  $x_1, x_2, x_3$  などを用いることもあります. 変数が表すものをその変数の値といいます. 例えば自然数を表す変数  $n$  はいろいろな自然数を表します;  $n$  が表す自然数が 7 のとき,  $n$  の値は 7 であるといえます.

ある局面で変数  $a$  の値を一定にするとき, つまり, 変数  $a$  が表すものを変えないとき, その間だけ  $a$  を定数 (constant) といいます. つまり次のようになります:

変数の値を一定にしている間だけその変数を定数という.

ですから, 定数とは特殊な状況にある変数です<sup>1)</sup>.

---

<sup>1)</sup> 変数ではない本当の定数もあります. 本当の定数とは, 例えば円周率を表す記号  $\pi$  のように, いつでもどこでも同じ数を表す記号です.